

期間を20年と限定していない。20年程度としている。

質問 要請の主旨と共に渡された「推進について」によれば、一定水準とあるが、まちの産業が一定水準にあるとは何ごとか。

町長 研究センターがある事によって200名近くの方々がいるから、客商売の所は大変、人も来てくれて大変ありがたいと聞いている。この施設がもしなければどうなのかなと考えた時、あるから商売も成り立っているというのが現状だろうと考える。

質問 では、無くなった時のことを今度真剣に考えましょう。最終の処分候補地になり、町民にお知らせしたあと、その後どうするのか。

町長 それは一方的に言うてくると思う。ですから、一方的に言うてきた事は、議会、町民にお知らせしますが、しかしいつも言うておとり、三者協定があるので、研究センターの所には受け入れが難しいことは明快であらう。

産業厚生常任委員会報告

- 第6回 11月11日
- 第7回 12月6日



第6回常任委員会

11月11日

(1)長寿命化橋梁補修事業について

橋梁補修の実施設計を組み、発注行為を3回行ったが、1社も応札業者がなかった。

交付金事業であり、北海道と数度にわたり協議した結果、工事請負費を実施設計の委託業務に振り替えて今年度中の実施という判断に至った。工事請負費の執行はなく、急を要するため10月21日に専決処分をした。

問 26年度の予定は。

答 追加で発注した分も含めて、7つの実施設計業務が終わっており、多くの工事が出来るよう要求して行きたいと思っている。

(2)農業体質強化整備事業について

25年度の予算として、9千2百50万円の工事請負費を考えていた。政権交代による影響か、この事業に対する考え方を、いわゆる土地改良事業として実施して

いくということから、北海道としては25年度の事業申請は行わないとした。そのため、町としては予算執行できないことになった。

第7回常任委員会

12月6日

(1)町立診療所の夜間警備廃止について

町民への医療体制を維持しながら経費削減を進めてきたが、当初予想よりも繰入金（1億7千2百万円）多いこともあり、今年度も人員削減等を行ってきた。更に、夜間の警備を廃止してもやっていけることから、実施することとした。これによる削減効果は約4百万円になる。

夜間警備廃止に伴う対応は、救急玄関をリモコンで施錠・開錠する。今のインターホンテレビ付きにして、救急患者さんを確認できるようにする。改修工事の予算は約48万円になる。

今後のスケジュールは、12月の補正予算議決後、1月中に改修工事を終わらせ2月から試行したいと考え



▲町立診療所

ている。その中で問題点等があれば改善し、4月から本格的に実施したい。

問 モニター付インターホンは、記憶できるシステムになっていくのか。

答 記録することまで考えていなかったが、予算を踏まえて検討する。

問 経費の問題でこういうことになったと思うが、こまめな対応をして行かなければと考えるが、どうか。

答 広報し、問題点等も確認しながら慎重に進めたいと思う。